



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3400 回例会・2023 年 2 月 1 日

本日のプログラム

つなぎ目talk

「バレンタイン・節分の思い出」

2022～2023年度国際ロータリーテーマ



R. I. 会長 ジェニファー・ジョーンズ

第 3399 回例会（1 月 25 日）の記録

ロータリーソング 四つのテスト

ビジター グローバルシティ マニラRC(Eクラブ)名誉会員 高橋 亮 様

会長挨拶 田尾会長

先日ロータリー財団への寄付を高橋(宜)会員と帰山幹事がされており、財団の方より感謝状と記念バッジが届いておりますのでお渡し致します。

本日から新入会員をお迎えする事が出来ました。中神 拓様です。大変嬉しく思っております。宜しくお願ひ致します。

私は北見市の教育委員を務めているのですが、皆様報道等でご承知のように教育長が志賀前教育長から社会保健福祉部長をされておりました武田教育長に変わられております。私は今4年務めているところなのですが、学校現場で先生方が力を入れている事の一つだけご紹介させて頂きます。特に中学校ですけれども部活動の地域移行というのを行っております。段々少子化になって中学校単独では1チーム編成が出来なくなって来ますので、こういったものを地域でクラブチームのような形で何個か集まって出来ないかという事を、今担当指導室の先生達が一生懸命取り組んでいます。今年の4月から少しずつ始めていくそうです。これは子供が減っているというのと合わせまして、学校の先生の労働環境をより良くするという働き方改革の側面も大きいです。やはり大会となると土日関係なく、先生方には本当に少ない手当で思いや熱意の中でやって頂いておりますが、それだとずっと続けていくのが難しいです。新しい人も中々やって頂けないという状況になっております。これからは外部の方の力も借りながらやっていくという事で、少なくとも土日は1日休むとか、そういうルールで全国一律で今やろうとしております。一方で、個人競技の方はまだまだ子供達が多く、卓球とソフトテニスはまだ暫くは学校単独でいけるそうです。そういった事で社会情勢の変化に合わせて教育の現場も変わってきているという事を今日は少しお伝えさせて頂きました。



幹事報告 帰山幹事

1. 本日入会となりました中神会員の職業分類は設計土木でクラブ会報・広報・雑誌委員会の配属となります。
2. 本日レターボックスの方に、2022-2023年度 R I 第2500地区第五分区分区 I Mのご案内をさせて頂いておりますので、出欠の返信を3月25日(土)までにお願ひ致します。



【新入会員】 中神 拓さん
勤務先：(株)中神土木設計事務所 代表取締役社長
スポンサー：田尾会長



プログラム 会員卓話 「実学の共創が目指す北海道の未来」

国立大学法人 北海道国立大学機構 北見工業大学 学長 鈴木 聡一郎 会員



昨年4月に北見工業大学は帯広畜産大学、小樽商科大学と経営統合して新たに国立大学法人北海道国立大学機構としてスタートしました。準備には4年をかけ、何とか昨年4月にスタートに漕ぎ着けたという状況です。これからどんな事を目指していくのかというお話を、今日させて頂きたいなと思っております。

この3つの大学それぞれの商学、農学、工学の道内にある実学の単科大学という事で、古いデータですけれども

北見工大は学生数が2,000人ちょっと。教員数が135名位で事務職員が90数名という状況で、年間の運営に係る経費は大体45億円位で運営している大学です。帯広畜産大学はちょっと学生が少なく獣医学部等もあるのでですけども1,300人前後。教員数と事務職員数は本学と大体同じ位。獣医学部がある関係もあって年間49億位で今運営されている大学です。小樽商科大学は学生数が3大学の中で一番多く2,200人位。教員数と事務職員数が少し少な目で運営されており、予算的にも38億円前後でしょうか。文系の大学は比較的そういった運営に係る予算、付属施設等もございまして低めになっています。スケールの的にはほぼ同じような感じで、3つの大学が経営を1つにして、大学はそのまま自立性を保って経営の部分の統合してより発展していきましようといったスキムで4年をかけて準備をし、昨年4月にスタート出来たという事で、10ヶ月が経ってまだバタバタして、会議の数も多分3倍、4倍位になっておりますし、職員は相当仕事が増えているという状況で落ち着くにはもう少し時間がかかるかなと思っております。

前慶應義塾大学の塾長であった長谷山彰先生がこの北海道国立大学機構の理事長にご就任頂きました。ご存知の方も多いと思いますが、慶應義塾の同窓会「三田会」というのがございまして、日本の名だたる企業のトップの方々が名を連ねているような同窓会がバックにあります。先程3大学の運営している予算についてお話ししましたが、同窓会の寄付金だけで80億円位を持っているという、日本の私大の雄ともいう大学の塾長を4年間務められた後に、昨年からは機構の理事長になって頂きました。大変ジェントルマンな方で、慶應義塾時代は相撲部の顧問をしていたという風に伺っております。ご本人も非常に大きくて185cm以上の身長があるのではないのかなと思います。体重も百数十kg。てっきり相撲部出身なのかと思ったら全然相撲部ではなかったというお話でした。そんな素晴らしい理事長を迎えて経営協議会というのが国立大学にはございます。本学も国立大学法人北見工業大学だった時には地域の皆様には大変お世話になり、多数の学外員の方にご参画頂いておりましたが、今度は地域をオール北海道という風に捉えて、北海道の各界を代表されるような方、北海道経済産業局の池山局長、サッポロホールディングス特別顧問の上条様、道総研の小高理事長、それから土屋副知事。そんな方々に参画頂いております。3大学の地域からも一人ずつ代表して頂いて、商工会議所の会頭にご就任頂いております松川会頭には経営協議会でもお世話になっているという状況です。こんな素晴らしい方々と明日、明後日と小樽の方で経営協議会が開かれる予定です。理事長を中心に産学官金の連携によって北海道の産業の活性化を図っていくという事が非常に大きな我々のミッションになっているという状況で、今その周囲の色々と組織固めをしているといった状況です。産学官金のコンソーシアム、今協議会が立ち上がりました。道庁とかノーステック財団、そんなところを中心にコンソーシアムを一つ形成して、産学官金の情報統合センターを作って、そこにURA(University Research Administrator)というのが流行りまして、要は大学の研究の中身を熟知した上でどう産業と結びつけるのか、どう経済界に貢献していくのか、そんな事を仕事とするプロフェッショナルの方達を準備して、3大学の色々な研究シーズ、それから融合研究の成果、そんなものを世に出していくこと。それから当然大学ですので、研究だけではなく人材育成といったところも両輪として大きく動かしていきたいという事です。理事長にはアドバイザーボードもございまして道銀の兼頭取です。この方は慶應出身で兼ねてから理事長と知り合いだったという関係でなられているという事を伺っております。それから川端新潟大学理事なのでですけども、この方は新潟大学に行く前は北海道大学の副学長を務められていた方です。産学官連携に詳しい方です。それから坂東真理子さん。「女性の品格」という著書で有名な昭和女子大。それから村井さんという日本のインターネットの父と呼ばれている慶應義塾大学の教授です。非常に政界とのパイプが太く、一緒に食事をしている時にも政府の情報が一杯入ってくるような事でした。そのような方をアドバイザーボードに迎えて世の中の情報をいち早くキャッチして、未来を見据え、3大学の成果をどんどん世に出していきたいというような組織を今作って4月からスタートしたという状況です。この本部の理事長室、それから機構の事務局というのは帯広畜産大学の事務棟を改修して増築して作っております。それ以外の教育イノベーションセンター、これは3大学融合教育を推進していくセンターですけれども、それは小樽商大それからオープンイノベーションセンターという3大学の研究シーズを誘導していくセンターを社会実装していくセンターを北見工大に置いているという状況です。それぞれ人材育成と研究成果の社会実装というのを両輪で回していくので、そこを上手く社会に向けて発信し地域連携プラットフォームというのも内部組織として作っています。今のところ3大学で経営統合をしましたが経営のスリム化はまだ図れていない、人も減っていない、仕事は3倍位に増えているという状況で、かなり辛い毎日を今過ごしているという状況なのですが、この両センターの成果が出始めると色々な期待から投資をして頂いて、ファンドを立ち上げて資金運用もしていく、そんな計画で今動いているのでもう暫く辛抱の時期が続くのかなと思います。私が後1年少々で学長終わりますので、そういう意味で間に合いそうにないという風に今ちょっと残念な気持ちでいるところです。



出席報告 小林出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	1/25	57	6	43	3	2	-	45	83.333%

【次回2月8日】 ゲスト卓話 「カーリングサポート隊の取り組みについて」

カーリングサポート隊 上地 雄大 様

【編集後記】 北見の寒さは厳しいですね。体調管理に努めましょう。(T.T)

2022～2023年度 北見R.C.活動方針

つなぎ目になろう～ボーダーを超えて～

ガバナー・エレクトとは

次年度ガバナーに就任する方です。ガバナー・エレクト研修と国際協議会への出席が義務とされます。